

勤務医LETTER

発行 大阪府保険医協会 <http://oh-kinmui.jp/> E-mail web@oh-kinmui.jp
〒556-0021 大阪市浪速区幸町1-2-33 ☎06-6568-7721(代) FAX06-6568-2389情報満載の
ホームページ
ご活用ください!
<http://oh-kinmui.jp/>選択できる未来
A future we can choose

勤務医部長 原田 佳明



バラク・オバマ米国大統領が広島平和記念公園を訪れ、追悼演説を行った。新聞各紙や米国大使館ホームページに全文が掲載され、被爆者代表に寄り添う姿が映像で流された。現職の米国大統領としてハバナを訪問しラウル・カストロ議長と国交正常化に向けての話し合いを開始したことやハノイで熱烈な歓迎を受けたことと並び、隔世の感を禁じ得ない。アフリカ系初というのみならず、外交面で歴史に名を刻む大統領になるのだ

ろう。「これから晋三と一緒にやるべきことがたくさんある。今日はあくまでもスタートだ」と語りかけられた安倍首相や地元広島選出の岸田外相を代表とする日本には応分の働きが求められたことになる。

増収分は
どこに消えたのか

伊勢志摩サミットとオバマ大統領の広島訪問で存在感を示した安倍首相は、10%への消費税増税を東京オリンピッ

ク前年の平成31年10月まで延期することを表明した。平成26年に5%から8%に消費税率が引き上げられた際の診療報酬改定では、外来診療費は引きあがられたものの、入院診療費は据え置かれ、病院を中心に経営状況の悪化が伝えられた。消費税率が10%に増税されると経営難の病院が増えることは必定とされていたが、今回の表明でその状況は先送りされたことになる。

消費税8%、10%への増税は、平成24年の自民党、民主

党、公明党の3党合意に基づいて行われているもので、「消費税率引き上げによる増収分は全て社会保障財源化する」とされていたが、これまでの政府支出を見ると実態はアベコベである。東京オリンピックを始めとする大型公共事業、大企業減税、国会議員歳費を含む公務員給与の引き上げや60か国以上への約6.5兆円の支援表明で増収分は軽く吹き飛んでいる。一方で社会保障費は大きく削減され、将来不安から個人消費は低迷し、病院や介護施設も低報酬の下で苦しい経営が続いている。

問われる選択

オバマ大統領は帰国直後の5月30日にアーリントン国立墓地で戦没者を追悼する演説を行った。5月30日は、米国

では、「南北戦争」終結に因み、兵役中に亡くなった将兵を追悼する「Memorial Day」である。オバマ大統領はこの日の式典での演説で、内外の戦没者を追悼する一連の行事を締めくくったが、トランプ氏（共和党次期大統領候補）は、真珠湾攻撃に大統領が言及しなかったことを批判している。オバマ大統領の広島での演説は、“That is a future we can choose” で始まる文章で結ばれている。日本では本年7月に18歳・19歳の国民が初めて投票できる第24回参議院議員選挙が実施される。オバマ大統領の広島演説は「どのような未来を選ぶのかは、米国も日本もそれぞれの国民の選択による」と訴えたメッセージだったと思われる。

開業して思うこと

66



開業から一年を迎えて

片岡整形外科 リウマチ科 片岡 英一郎

2015年7月7日に開業してから、多くの方に支えられて、なんとか1年が経ちました。

人は自分を映す鏡

開業して大変だなと思ったのは、本当に人格を問われることが多いということです。患者さんからはもちろんのこと、雇用者と被雇用者（経営者と従業員といってもいいのでしょうか。）という関係にあるスタッフからも常にその言動を評価されています。診療所において、院長は常に人としての在り方を問われており、その緊張感から解き放たれるときはありません。そのことは仕事への推進力にもなれば、徒労感を味わう原因にもなります。

私たち医師は、試験の成績や研究、診療の業績という思考力、論理性で評価されてきていますから、多面的な人物評価というものに慣れて

いません。会社などでも、『彼より私の方が売上実績は良いのに。』というような話があるようです。しかし、見方を変えれば、業績が優れているのに処遇に恵まれない人は、他に足りないところがあるのかもしれません。自分の境遇に満足できないとき、他人に責任転嫁するよりも自らを省みることが必要だと思います。

ですから、「患者さんやスタッフとうまくいかないのは、自分に足りないところがあるのではないか」、いわば「自分の欠点を映す鏡ではないか」と考えることにしました。決して楽しいことではないのですが、自らの欠点を明らかにしてくれる存在と考えるだけで少しは気が楽になります。

「開業医は孤独」とはよく言うけれど

一方、開業してよかったことは、患者さんと

も、周辺の診療所や病院の先生方とも、勤務医時代より密に接することができることです。もちろん、労力と時間はかかるのですが、本当に地域に受け入れて頂ける努力は惜しむべきではないと思います。そのためにも講演会などは参加するようにしています。勉強もできるし、懇親会で先生方とお話もできるので、一石二鳥です。そのうちに、公的な仕事や患者さんを通じての医療講演なども依頼されることがあります。地域に貢献できる機会ですから、できる限りお引き受けするようにしています。

よく、開業医は孤独だと言われますが、仕事上のつながりは多くなりますので、心がけ次第で豊かな関係が作れるのではないかと思います。それと、家族の協力が得られないならば、開業はしない方がよいと思います。仕事に悩んだとき、職場でも家庭でも落ち着けないのは辛いと思いますから。

以上が、開業1年生の雑感です。良いことも悪いこともありましたし、今でも不安だらけですが、これからも自分なりにやれる範囲でやっていこうと思います。



勤務先・自宅住所が変わられた先生方へ

最近自宅住所・勤務先が変わっている先生方から「郵送物が届かない」というお問合せを多数いただいております。

自宅住所、勤務先が変わられた場合には右記までご連絡をお願いします。特に共済制度、医師賠償責任保険などをご利用の先生方はご注意ください。

問合せ

TEL 06-6568-7721

大阪府保険医協会 勤務医部
(杉嶋/姜)ホームページ (<https://osaka-hk.org/>) の

お問合せフォームからも登録情報の変更は可能です。

政府の“ウソ”を 看破する

～ 本田宏の白熱教室 ～

第2回

情報操作を続ける
厚労省の罪～医師数編～



本田 宏

外科医
医療制度研究会副理事長
前埼玉県済生会栗橋病院
院長補佐

今回は「お上は悪いようにするはずがない？」と題して、大学受験戦争の勝者が年次席次で財務省に入省し、厚生官僚はより良い医療体制よりも、財務省の意向に添う安上がりの医療を追求せざるをえない。その構図が先進国最低の医療費と医師数、逆に先進国一高い窓口自己負担の温床であることを紹介しました。

今回はそのお上が、現在どのようにして医師数や医療費削減を達成しようとしているのか、その実態について具体例を通して紹介してみたいと思います。

脱官僚話法～数字の前提を疑う～

図1は昨年7月1日の読売新聞に掲載された

「人口10万人あたりの医師数の推移 (https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20150701-OYTEW50635/)」という図ですが、これをご覧になって皆さんはどう感じられるでしょうか。

この記事の見出しは「医師不足じわり解消…10年後、先進国平均に」でした。厚労省がまとめた医師数の推移を紹介したニュースを見た殆どの読者は、日本の人口当たり医師数は2025年にOECD平均を追い越し、2040年には大きく上回ると受け止めたと思います。「やられた！」私はこの図を見て思いました。というのもこの図のOECD平均は2011年の数値で、それが2040年まで増加しないことが前提となっていたからです。

果たしてOECD加盟国では今後医師数が本当に増加しないのでしょうか。図2は2015年6月の月刊／保険診療に「メディカルスクールとPA導入で医師の増員と負担軽減を」と題して私が投稿した論文の挿入図です。ご覧いただければ一目瞭然ですが、OECD加盟国の医学部卒業生の推移は、医師数が世界一多いイタリアを除いてすべて日本より増加しています。一方日本の人口当たり医学部卒業生数は殆ど増加していません。

しかし昨年政府は2008年からようやく増員した医学部定員を「将来的に医師が過剰になる」として、医療費抑制のために削減することを検討開始したのです。

医師不足のツケを払うのは
地域住民！？

さて医療費亡国論で医師削減を行ってきたお上の努力が結実した事件が、今年の1月に埼玉でおきました。皆さんは埼玉県の厚生連の二病

院が売却となったことをご存知でしょうか。一つは私が平成元年から四半世紀勤務した済生会栗橋病院の近くに5年前に新設されたばかりの久喜総合病院です。久喜市が36億円を拠出して幸手市から誘致したのですが、300床の病院なのに常勤医が30名程度という医師不足を主因とした経営悪化が響いて、九州の医療法人に売却決定となりました。もう一つは70年以上地域中核病院として役割を果たしてきた熊谷総合病院で、北海道の医療法人に売却決定となりました (http://www.saitama-np.co.jp/news/2016/01/16/06.html)。なんと埼玉県から厚生連はすべて撤退となってしまったのです。

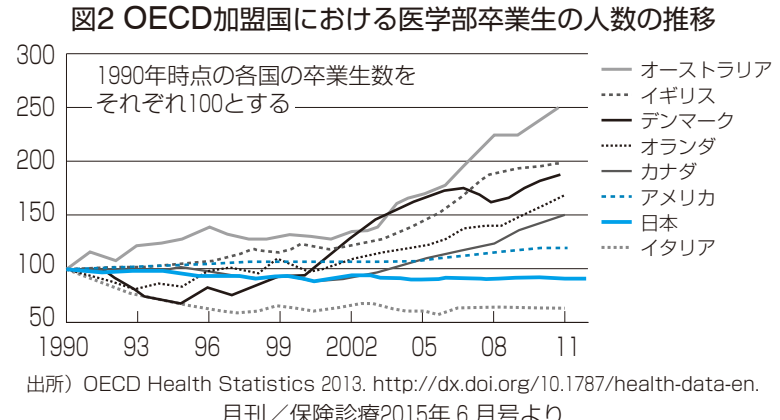
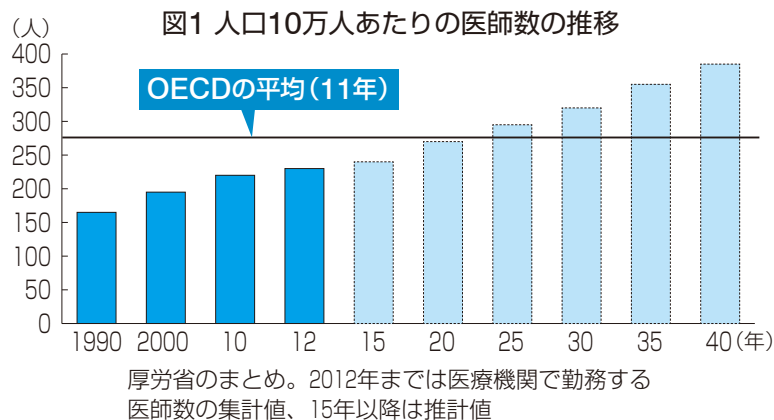
確かに医師養成数を抑制して、医師不足のために地域の病院が姿を消せば、お上の思惑通り医療費削減にはなるでしょう。しかし久喜市の拠出金の穴埋めは久喜市民が負わなければなりません。その上地域に医療空白地帯が広がってしまう危険性が高いのです。

十数年以上医療再生のために、医療費と医師増員の必要性を訴えてきた私ですが、今後も“Patient first”の立場で声を上げ続けなければならないことを、新設5年目の久喜総合病院の売却問題が改めて気付かせてくれました。

本田 宏

1979年医師免許取得後は36年間外科医として生活。東京女子医科大学第3外科にて腎移植、肝移植の臨床と研究に携わり、最後の26年間は全国一医師不足の埼玉県の地域急性期病院（済生会栗橋病院）で勤務。2014年に還暦を迎えたのを機に、2015年3月で外科医を引退。医療再生のために情報発信活動に加えて市民活動等へ積極的に参加している。

近著：本当の医療崩壊はこれからやってくる！
(洋泉社2015年)



伝言板 Message Board

テナント物件／貸医院

- ▶テナント物件 (医療ビル)／東淀川区大隅／大阪市営バス「大阪経大前」徒歩1分／地下鉄今里筋線「瑞光4丁目」駅・徒歩4分／阪急京都線「上新庄」駅・徒歩7分／人通り多／眼・耳鼻咽喉・皮膚・小児・心療内科の真空地域／1階 (21坪)・2階3階 (33坪)／内部自由設計可／賃料相談応／問合せ・06-6327-0498 (村井)
- ▶テナント物件／東成区東小橋3-17-1／J R・地下鉄・近鉄「鶴橋」

- 駅・徒歩1分／千日前通・アーケード有／5階 (約26坪)／皮膚科・耳鼻科・婦人科・眼科等急募 (内科既決)／問合せ・06-6313-3380 (阪急不動産)
- ▶貸医院／港区夕張交差点前／地下鉄「朝潮橋」駅・徒歩5分／市バス停前／内科・外科最適／一戸建鉄骨2階 (合計約50坪)／集客力大／連絡先・06-6574-1526 (藤田)
- ▶貸医院／近鉄「布施」駅・12分／約50坪／2階：眼・耳鼻・皮・小・整外、1階：泌尿器科開業中／隣大手スーパー／大型エレベーターあり／問合せ・06-6721-0001 (ちょう)

専門医制度で医療はどう変わるか？ ～ 2017年の本格始動を前に～

2017年度を目処に制度が本格始動する専門医制度ですが、「医師偏在を助長し、地域医療に多大な影響が生じる」「養成プログラムの考え方等課題が多いので実施を延期すべき」といった意見が各所で出され状況は不透明です。しかし、今後のキャリア形成に多大な影響を及ぼすことから早期の情報収集も重要です。

大阪府保険医協会勤務医部ではこうした現状と会員ニーズを踏まえ、制度を巡る最新の情勢と制度が勤務医等に及ぼす影響について講演会を開催します。ぜひご参加ください。

日時 10月1日(日) 15:00～17:00

会場 大阪府保険医協会「M&Dホール」

講師 吉中 文志先生 (京都民医連中央病院院長 京都府保険医協会理事)

申込はFAX (06-6568-2389) 担当 杉嶋・姜まで
主催 大阪府保険医協会 勤務医部会

